

上尾市学校施設更新計画基本計画 地域説明会

日 時	令和3年7月17日(土) 10:00~12:35
場 所	上平公民館 集会室兼体育室
参加人数	17名
意見・要望等	
事務局	【上尾市学校施設更新計画基本計画について説明】
参加者	<p>学校を建替えると多額の費用が必要になると思うが、長寿命化の試算について伺う。</p> <p>コンクリートのひび割れにコンクリート粉を使用した修繕、シリコン素材を使用した修繕、屋上の防水シートを新しくするなどの修繕を行い長寿命化すると思うが、学校によって劣化状況が異なると思うが、各学校の長寿命化に必要なコスト試算はしているのか。</p> <p>GIGA スクールについて、実際にタブレット端末を使用し、eラーニングをしたことがあるが、タブレット端末を使用した教育は子供の視力の低下への心配や子供に教えこむ内容になるのではないかと思う。</p> <p>双方向の対話による授業の時間が確保できるのかが不明である。自分の頭で考える力を養う教育とは程遠く感じるが、どうお考えか伺う。</p>
教育総務課長	<p>1点目の長寿命化の関係で、コストを試算するにあたり、長寿命化することを前提として考えている。長寿命化に適さない建物もある。</p> <p>文部科学省が示した基準以下の建物については、長寿命化ができない。具体的な建物についてはホームページに掲載をしている。全ての建物を長寿命化するわけではない。コストのグラフにあるように15年後ぐらいに更新費用が集中し、100億円を超える時期がある。そういったところを財政の平準化を図る観点から、更新をせずに、再編することによりコストを抑えることも検討している。</p> <p>基本的には長寿命化をすることを考えているが、長寿命化をしない場合もある。</p>

<p>学校教育部長</p>	<p>一人一台端末により、子供達にどのような教育ができるのかということについてであるが、これからの教育は教え込む教育とは反対の、個別最適な学習が望まれている。一人一人が自分の学びに応じて課題解決を図っていく。その中で、調べものをしたり、自分の考えを紙に書き、共有をしていたことが、端末を利用することにより、その場で共有ができるようになる。それをを用いて、対面の授業の中で話をしていく授業が始まっている。</p> <p>様々な課題に対して自分の考えをもち、話し合い、協働しながら解決していくことが重要として学習を進めている。</p> <p>ご指摘のような教え込みや、一方的な学習にならないよう、端末を使用し、協働的で一人一人の理解に応じた学習ができるよう努力しているところである。</p>
<p>参加者</p>	<p>上平小学校の児童数が多くなった関係で、上平北小学校が建設されたと聞いている。旧地権者など地域のことに関して、教育委員や教育委員会はどのように検討したのか。</p> <p>上平小学校と上平北小学校が統合することにより、様々な課題が発生すると考えられているが、上平地区において、どのような課題があるか、その課題に対してどのように対処しようとしているのかを検討したのか。</p> <p>重要な問題なので教育委員も関与しているかとは思いますが、その点の有無も踏まえて教えてほしい。</p>
<p>教育総務部長</p>	<p>計画の策定にあたり、平成 29 年度から、検討組織を立ち上げ、様々な検討を進めてきた。</p> <p>アンケートや外部の方が参加していただいた会議も含め、まず基本方針を定め、今年度は基本計画を策定したところである。</p> <p>基本方針や今回の基本計画についても、定例教育委員会に諮り策定させていただいた。</p> <p>教育委員からは地域への丁寧な説明が必要であり、地域の意見を吸い上げるようにして欲しいと意見をいただいた。</p>
<p>教育総務課長</p>	<p>統合した場合に発生する課題について、今回示している案は財政シミュレーションの結果であり、市の決定事項ではない。今後、地域の意見を踏まえて再編の形を検討していく。</p> <p>仮に統合する場合は少なからず影響のある子供達たちはいると</p>

<p>参加者</p>	<p>考えている。先進的に統廃合している学校もあるため、そういうところの課題などを抽出した上で、その課題の解決に向け、皆様の声を聴きながら、どのようなことができるかを検討していきたい。</p> <p>自治会の定例会にて説明をいただいたが、疑問があったため、本日参加した。</p> <p>老朽化の問題は深刻であるが、本来は校舎を建設した際に40年後のことを想定して計画を立て実施すべきことではないかと思う。今はそのことを言っても仕方ないので要望を2つ述べる。</p> <p>1つ目は、31ページから34ページにかかわることであるが、統廃合を考える前に、経過年数の問題だけでなく各学校の施設状況を診断すべきである。それは文科省が平成27年に自治体に向けて長寿命化の手引きを出しており、そこにも書かれている。さらに、個別施設の点検、修繕をしていく中で、平成29年に学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書が出ており、そこにはかなりデータ化した情報が乗せられるように詳しい解説がしてあり、それを一番最初にしてほしいと思った。</p> <p>全校の状況を分析してデータを出し、それを基に具体的なことを地域の皆さんと検討していく。長寿命化のために少しずつ手を加えていく施設や改築しないといけない施設等など、優先順位を決めることが大事である。そこから具体的な行動を決め、その先にどうしてもコスト的に統合が必要であると話が出たのであれば、そういう考えもあるのではないかと議論が進むと思うが、初めから、コスト面のみに目を向け、プールの整備ができない等、再編の話が一番出てきているので、一度、再編の話は脇において、学校毎の実態を正確に分析してほしいと思う。</p> <p>2つ目が統廃合の時に注意すべき点は学区である。学区の大きさは34ページのような丸い円で示すのではなく、現在の学区の図と統廃合後の学区の図を比較する方法で行う方が良い。そうすることで、どれだけ学区が広がったかがわかる。そこから登下校の安全性や、地域の学校としての役割が果たせるのか、防災上はどうなのか等の事柄が具体的に見えてくると思うので、小中学校の保護者への説明をする時に、統廃合後の学区の図もあるとわかりやすいと思う。是非慎重に考えていただきたい。</p>
------------	--

参加者	通学路をきちんと見ていただきたい。
教育総務課長	<p>文部科学省の手引や解説書に関しては、教育委員会として把握はしている。解説書の中で建物などのコスト計算のプランが出されているが、我々も全ての校舎で耐用年数や健全性について調査をしており、建物の状況についてはホームページに掲載をしている。今後の方向性についても検討していく。</p> <p>2点目の学区の問題についてであるが、40年から50年前に学校が建設され、最初に手をつけたのは、学区の調整でした。</p> <p>しかし、地域の実情や安全面などの考慮すべき点があり、学区の変更はなかなか難しい場合も多く、調整区域を設けさせていただきながら、児童生徒数の多い学校から少ない学校へ通学できるようにして、偏りをなくす調整をしてきたが、偏りをなくすのは難しい状況である。今回の再編にあたっては学校の在り方を地域でご意見をいただきながら形を決めていきたいと思う。</p> <p>その中には、学区の調整も出てくるため、ご意見を伺いながら新しい学校の形を決めていきたいと思う。</p>
参加者	<p>1つ目は井上茂議員の議会報告でこの基本計画の上位計画である上尾市総合計画の人口推移が掲載されているが、今回の説明にあった人口推移と異なっている。その点はどうなっているのか。</p> <p>2つ目は旧地権者の方々の好意・善意により土地を提供していただいて、学校ができた経緯がある。旧地権者の方々の好意・善意をどのように考えているか。</p> <p>3つ目に、「子供たちに最善、最良の形で学習ができる環境や機会を将来にわたってずっと保障していくことが、市及び教育委員会の責務です。」とあったが、現状の学区は丸い円状ではなく、いびつな形であり、各学校によって通学距離や時間などが異なっている。</p> <p>この計画によって、周辺地域の学校を新しい学校にすると提案されているが、中心部の学校と周辺部の学校とで条件があまりに異なるとよいのか。慎重に検討をしてほしい。</p> <p>基本方針を策定する前に、本日のような説明会をしてほしかった。そういうことが必要であったと思う。</p>
教育総務部長	2点目の旧地権者の方々の好意・善意について、本当に感謝をし

	<p>ている。現地権者に対しても、旧地権者に対しても丁寧に説明をしていかないといけないと考えている。</p> <p>まだ再編の方向については決まっていないが、仮に再編することになった場合は、今後どのようにするのかは市が一方的に決めるのではなく、意見交換をしながら進めていきたい。</p> <p>ご指摘の意見を踏まえ、慎重に検討していく。</p> <p>繰り返しになるが、学校などにも説明させていただき、地域説明会も今回で終わりとは考えていないため、引き続き意見交換をさせていただきたいと思う。</p>
教育総務課長	<p>1点目の人口推計だが、基本計画では人口推計について、国立社会保障人口問題研究所の推計を使用しており、総合計画においても同研究所のデータを使用している。ただし、第2次上尾市地域創生総合戦略の中では将来展望人口として29ページの赤色の推計を示している。</p> <p>将来展望人口は、人口の増加をするために、上尾市で様々な施策をした結果、将来目標とする人口について示したものであり、右肩下がりものを上向き方向に変えようとした際の目標値である。</p> <p>実際、施策の効果により人口増が見込まれたり、人口増となった場合も想定される。この計画の推進にあたり、35年という長い期間のため、随時人口の推計を見直して進めてまいりたい。</p>
参加者	<p>ふるさと財団に応募して、計画を策定したというような関係と聞いているが、ふるさと財団は民間活力の活用を考えて作られているとネットなどで書いてある。そうすると、この学校統廃合にこの民間活力をどうやって活用することを想定しているのか。</p> <p>例えば、今、学校給食は全校自校方式であるが、それを民間に任せってしまうということはないのか。</p> <p>それから、上平地域の統廃合は13年も先であるが、今決めて良いのか。13年後はマンションが建つなど何があるかわからないため、もっと短い期間で考えるべきではないか。こんな先の話の計画を今決める必要はない。</p> <p>私の子供や孫も上平北小学校を卒業した。当時から1学級から2学級程度の小さな学校であったが、すごくよかった。別に問題はないが、統廃合する必要があるのか。小さいから統廃合するとい</p>

<p>教育総務部長</p>	<p>う必要性は感じない。</p> <p>この計画について、P T A等の保護者から問題であると提示されているわけではないと思う。どうしてこのような計画が急に出てきたのかわからないが、市民からの要求ではないと思う。もし、市民が分からない問題が将来発生するなら、その問題についてもっと早い時期から分かりやすく説明をすべきであり、ほとんどの市民が分からない状態で進めていくのは、おかしいと思う。もっとこのような問題が起こる可能性があるため、どうしようかという議論がなかったのはなぜか。そういった議論の場がない状態で、進めていっても良いのか。</p> <p>2点目の13年後の話を決めて良いのかということだが、教育委員会としては、再編期間は10年ほどかかると考えている。</p> <p>まず、学校づくりの検討協議会を設置し、様々な意見を出していただき方針を決定するのに約5年、その後の施設の建設、整備、設計工事などにさらに5年かかると想定し、スパンとしては10年ほどを考えている。</p> <p>3点目のどうしてこのような計画が出てきたのか、市民からの要求ではないという話であったが、この計画を策定するにあたり、冒頭でも説明をさせていただいたが、上尾市の学校は人口の急増期に建設され、その後、年数の経過とともに施設の老朽化が進み、施設の更新が必要な時期になっている。</p> <p>それから建設当時に比べて、児童生徒の数も半分ぐらいに減っている状況であり、今後も減少していく見込みである。</p> <p>そういったことを踏まえ、計画につきましては施設の老朽化の更新のタイミングと合致した時期であり、この計画を策定した。</p> <p>アンケートや外部の方に参加していただいた会議も含め、この計画の策定を進めてきた。</p> <p>先ほど説明があったように、この計画の具体的な再編案については、財政シミュレーション上の事務局の案であり、最終的には地域の皆さんの意見をいただきながら検討していきたいと考えている。</p>
<p>教育総務課長</p>	<p>1点目のふるさと財団について、ふるさと財団に申し込んだ理由は、ふるさと財団に地域モデルに採択された場合は最大700万円の助成金が得られること、有識者からの助言が得られることの</p>

	<p>利点があったため、申し込みをした。</p> <p>民間活力の話が出てきたが、民間活力を活用するかどうかは、この計画では定めていない。先ほど学校給食の話があったが、学校給食のあり方について、建物としては計画の中で考えていく必要がある。</p> <p>現時点では小学校は全校自校方式で給食を配食している。中学校については、共同調理場を設置しているほか、各学校でサテライトキッチンを設け、センター&サテライト方式で提供をしている。</p> <p>仮に学校を再編することになった場合、給食室を設置するかどうかの問題がある。給食室の設置には経費が掛かるため、検討していく必要が出てくる。給食室の設置に関して、現状は全校自校方式で配食するよう財政シミュレーション上は試算している。給食の配食方式については大きな課題であると思っている。教育委員会としてどのような配食をしていくかを検討し、令和5年度までに検討し、決定していきたいと考えている。</p> <p>民間委託についてはこの基本計画ではなく、別の計画であり方を検討していく予定である。</p>
参加者	<p>今回の計画は素晴らしいと思う。今まで厳しい質問や厳しい意見が出ているが、説明会を行うことは評価をして良いと思う。</p> <p>個人的な意見だが、議会に傍聴を12年ぐらいしている。</p> <p>最近は傍聴者が多く、傍聴できないこともあるが、定例教育委員会も傍聴している。</p> <p>この場に市長がいない、冒頭のあいさつで代弁でもよいから、まず、市長の考えを述べてほしかった。市長就任のあいさつで「市民の皆様との対話を重ねながら、ともに英知を結集し、次代を担う子供達に素晴らしい郷土を引き継ぐことができるよう、粉骨砕身、市政運営に取り組む」と述べている市長が、この場に積極的に来ないのはおかしい。</p> <p>定例教育委員会の様子を見てみると教育委員は来なくても良いと思っている。例えば、図書館の問題に対しても、市長が変わり4年もたっているが何も進んでいない状態が続いている。</p> <p>議会に関しても、新図書館に賛成した方が多くいた。</p> <p>新図書館に関して、議員も賛成していて、市も説明をしていたが、市長が変わった途端に中止とも明言せずに、都知事のようなうま</p>

<p>参加者</p>	<p>いことを述べて、曖昧にするような風潮がある。 そういう中で、本当に何を考えているのかわからない。 35年の長期計画なので、市役所の職員もバカではないため、その時々に沿った現場主義でどんどん見直しをしていくと思う。 我々の税金を使って実施しているので、そのチェック機能を議員が果たしているのか。今の議会を見ていると機能していないように感じる。現場主義もほとんどないように感じる。 そういった中で、職員を信じるしかない場面も出てくるが、議員が反対しているから進まない。 選挙で市長が変わればまたどうなるのかわからないことを含め、市長がここに顔を見せないのはいかがなものか。 上平の図書館については教育総務課が、担当しており、皆さんは知らないと思うが、ワークショップをやっていた。その時に、傍聴者で参加したのは私一人であった。市長が市民の意見を聞く場を肌で感じる事が大切である。 教育長や教育委員は力がなく、市長部局の言いなり感がある。 東町小学校のプレハブ校舎の問題が20年近く続いており、この間やっとプレハブ校舎を利用していた児童が本校舎へ行けることになった。その後のプレハブには学童保育所が設置された。 そんな現状がある中でこのようなことを進めるのは良いが、ある意味では現場主義で現場に即したことをやらなければいけない。 富士見小学校はすごい学校であるが、セキュリティがなっていない。今後、富士見小学校をモデルとして学校をつくっていくのか。安心安全を含め、設備も児童生徒も教育も全てが公平になるようなところを目指さないといけない。そういうことをやっていかないと説得力がないと思う。 本日は学校教育部長や学校の先生も参加しており良かったと思う。子ども未来部がないことは情けない。学童保育所は子ども未来部が担当しているため、来ないのは良くない。</p> <p>役所側から校舎の老朽化や児童生徒数の減少により時代にあった見直しが必要とのことで、学校施設基本計画ができたことを本日初めて知り、びっくりした。これは今の日本政府のやっていることと同じである。上からの圧力によりまとめられたように思える。この計画には市民の声が反映されていない。保護者や教育関係者の声をよく聞いて反映してほしい。</p>
------------	--

	<p>周知や意見収集のための説明会をもっとすべきである。 教育委員会は机の上の仕事では困る。 市民の声を大切にしてほしい。小中一貫校が2校設置される案について、東京都の品川区は優秀な人材を育てるためのものだが、上尾市はコスト削減、上からの圧力があり、老朽化による見直しによる学校の統廃合が進められた一環だと感じる。机上の論理や上からの押し付けにならないよう、もっと市民の声を聴くべきである。そうでないと、私達や卒業生などは踏みにじられた思いを感じる。</p>
教育総務課長	<p>丁寧に説明をしてもらいたいということについて、今回6地区13回の説明会を実施した後、市内全小中学校33校で、保護者向けの説明を実施する予定である。並行して各地区の自治会にも伺い、地域の実情や意見を伺いながら新しい学校の形を決めていきたいと考えている。 学校の先生の意見を聞いてほしいとの意見があったため、学校の先生にもこの計画の周知を図るとともに意見を伺いたいと思う。</p>
学校教育部長	<p>小中一貫教育は、9年間を見通して、教育課程を生活面や学習面の勉強をより図っていく学習形態である 小学校の生徒指導上の弊害や中一ギャップと呼ばれる様々な課題に対しても解消を図るための効果も言われているが、先進的に実施している学校などの実例も十分に検討していきながら、進めていきたい。上尾市の市内小中学校は校舎別々であるが、小中の一体の関係をもった教育を進めているので、それらに加えながら、子供たちにとって良い教育ができるように研究を進めていきたいと考えている。</p>
参加者	<p>少人数学級を実現できる良い機会だと思うため、いろいろな統廃合は教育をダメにする、行わないでほしい。 原市地区は1つになってしまうと聞き、統合案の通学距離を歩いてみたが、大人でもすごく遠くて疲れました。小学1年生が歩いて通うのは無理だと思う。 給食室の関係であるが、上尾の学校給食はとてもおいしい。給食室があることは何か災害があったときにすごく役に立つ。給食室を大事にしてほしい。</p>

教育総務部長	<p>原市地区で学校が一つになると、学区が広くなり、小学1年生の通学が大変であることについて、新しい学校づくり検討協議会の中で、様々な意見を伺いながら、決定していきたいと考えている。今後は地域の皆様に説明をさせていただき、意見交換をさせていただきながら、進めていきたいと考えている。</p>
参加者	<p>事務局の説明では適正規模のことを強調しており、小規模校はクラス替えが出来なくて、子供達が困るような説明であったが、小規模校はお互いを良く知りあえて、成長でき、つながりが持てる利点もある。小規模校で経験したことが今でも生きている。上平北小学校が小規模であり適正規模でないため、上平小学校に元に戻すというのは、人間を育てる学校教育としては決して良いものではない。</p> <p>机上の計画はそのようなことが見えなくなっているのではないか。人間教育ができるような体制をつくるのが教育行政ではないのか。</p> <p>総務省が学校規模や面積を縮小しなさいなどと、たかが700万円の助成金で、それを応募して貰おうなど根性が小さすぎる。過去に大宮に住んでいたことがあり、子供を保育所に入所させようとして、大宮市の職員の態度がひどかった。</p> <p>昭和50年代は「子育てするなら上尾」と言われ、上尾に越してきたが、その時の上尾市の職員の対応は非常に良かった。その市政をしっかりと受け継いでほしい。汚職などで有名にならないでほしい。</p> <p>小規模校でクラス替えができないからいけないという発想はやめてほしい。</p> <p>「子育てするなら上尾」という評判を復活させれば、人口も増加し、小規模校ではなくなる可能性もあるため、そのようなことを考えた市の行政を行ってほしい。</p> <p>たかが700万円で、こんな計画を立てるなど、けち臭いことはやめてほしい。上尾の恥である。</p> <p>汚職の上塗りをしないように願います。</p>
教育総務課長	<p>小規模校については、1人1人の学習状況や内容の定着状況が把握でき、効率の良いきめ細かい指導が出来るメリットもある。</p>

<p>参加者</p>	<p>ただし、適正規模により、複数学級編成できるようになると、児童生徒を多様なことに触れさせることができる、新たな人間関係を構築する力を身につけさせるなど、複数学級のメリットもあると考えられるので、いろいろな形で意見を聞きながら、進めていきたい。</p> <p>いろいろな人に会えば、多様な教育ができると話していたが、その発言は教育現場の育つ過程を知らなすぎる。</p> <p>1学級だから、外部との交流がなく、育たないということは絶対にありえない。</p> <p>現在、学校の中ではいじめがいっぱいで子供達は悩んでいる。私も教育相談を受けているが、30 過ぎの男の子が、小中学校でいじめられ、不登校になって、引きこもって、保護者も本当に大変で、相談してくる。いじめというのは教師の指導が悪いかもしれないが、教師が忙しすぎて、子供一人一人に目が行き届かない教育現場があり、保護者は教師を怒る。</p> <p>私も教師をやっていたため、保護者の気持ちも教師のつらさも理解できる。その原因は教育行政が悪すぎる。</p> <p>そこのところをしっかりと検討してほしい。</p>
<p>学校教育部長</p>	<p>市内の小中学校を複数回訪問している。</p> <p>小規模校では、お話があったとおり、あたたかな良い教育を実施している。</p> <p>小規模校に愛着を持っている保護者や子供達が残念がる気持ちも理解ができる。</p> <p>一方で、学級編成のクラス替えができないことによって、課題が発生した際に、解決が非常に困難であることも事実である。</p> <p>中学校の方では、最近、部活動は複数顧問制を採用しており、小規模校の教師人数では部活動が維持できず、他校と共同で部活動を行っている学校や部活動を縮小しないといけない状況もある。</p> <p>メリット、デメリットはどちらにもある。</p> <p>人間教育を大切にしたい教育行政をしてほしいとの意見は、深く心に受け止め、考えてまいりたい。</p>
<p>参加者</p>	<p>私も「子育てするなら上尾」という環境に惹かれ、市内に越してきた。</p>

<p>教育総務部長</p>	<p>現在は孫が2人いて、来年、小学校に上がる孫と学校施設更新の影響を受けてしまう年齢の孫がいる。</p> <p>非常に危機感を覚えて、この説明会に参加している。</p> <p>今日の説明を聞き、愕然としたのが、70%以上の学校が40年以上経過していることである。説明では経過しているとさらっと述べたが、なぜ放置していたのか。</p> <p>子供達を危険にさらす状況をつくってしまったのか。</p> <p>学校施設検討協議会のメンバーに外部の方を含めたあったが、どんな外部の方なのか。</p> <p>その外部の方により方向性が変わってくると思う。</p> <p>子供の教育よりも効率や予算を考えるような方ではないかと懸念している。</p> <p>最近働く親世代が多くなっている。保育園も大変だが、学童保育もかなり利用されている。</p> <p>学童保育も学校と同じように統合されていくのか。そうなった場合の子供達への配慮はどうなるのか。</p> <p>スクールバスの話に関しても、登校時は良いが、帰宅時は各学年ごとに下校時刻が異なるが対応できるのか。</p> <p>小学校は防災拠点として非常に重要であると考えている。</p> <p>令和元年の台風19号では平方地域が大変なことになり、私もボランティアで参加し、大変さを肌で感じた。小学校区は高齢者が助け合いながら歩ける距離であり、小学校区に避難場所があることは、住民の安心安全につながっているが、統廃合により遠くなると避難が出来なくなる。</p> <p>防災拠点としての小学校の役割についてどう考えているのか。</p> <p>小学校の給食の自校方式は非常に素晴らしい。</p> <p>小学校に台所機能があることは、防災時の住民にとって、安心安全に非常に役立つ。</p> <p>そういった意味でも統廃合してほしくない。</p> <p>クラス替えできることは本当に重要なかわからない。</p> <p>競争の原理が入ってしまっている学校の中で、ゆったり教育が子供達を育てると感じている。</p> <p>外部の方を含めた検討委員会については、学校施設ミーティングと称して全3回、開催をした。委員は14人で、各地域の学校評議員から6人、退職校長会から2人、市のPTA連合会から4</p>
---------------	--

<p>教育総務課長</p>	<p>人、公募の委員が2人、有識者である文教大学の葉養教授で構成していた。</p> <p>学校は教育の場以外に、防災拠点の役割、地域のコミュニティの中心等、他の機能を有していることは、認識している。</p> <p>今後、防災機能を含め、他の機能が損なわれないよう、新しい学校づくりを進めていきたい。</p> <p>1点目の70%以上の学校が40年以上経過しているが、今まで対応せず、子供達を危険にさらす状況をつくってしまったのかということであるが、地震に対する耐震補強については全ての学校で完了している。地震に対する対策はできている。</p> <p>長寿命化の話では、建物のコンクリートには耐用年数があり、上尾市は60年と示している。コンクリートは強アルカリ性でできしており、中性化が起これると建物のコンクリート強度が弱くなる。そのコンクリートの健全性が保たれない学校は60年で使えなくなるが、今は健全性が保たれている状態である。今後、耐用年数を超え、健全性が保たれない危険な建物は改修をしなければいけない。そのようなことを見据えた形で計画は考えている。現状の建物は安全である。</p> <p>学童保育所の関係であるが、現在22校中17校で学校敷地内に設置している。今現在は1つの学校に対して1つの公設の学童を設置する状況である。仮に再編により学校数が減った場合、この基準についても検討が必要であり、受け入れられる学童の児童の数も検討が必要になると思うが、基本的に学童は学校施設内に設置するものと想定している。</p> <p>スクールバスについても、各学年の下校時刻のずれがあるとは思いますが、スクールバスを使用する児童に関して安全に帰宅できるような仕組みを考えていく。</p>
<p>参加者</p>	<p>結びの部分を読んで頂いたが、建物を説明の通りに設置したところで、その教育はできないのではないかと。</p> <p>コロナ禍でテレビ放送でも放映されたように、1クラスを2つに分けて教育の授業を行った。その授業を受けた児童の感想が先生と話ができてうれしかった。そのような話がたくさんテレビでも放送された。</p> <p>給食の話もでた。上尾では学級の人数を少なくしてほしい等の事</p>

	<p>柄が教育観点から市で問題になったことはないのか。それから、給食費無料などの署名活動も時々見られるが、教育委員会で話題になっていないのか。</p> <p>それから日本は先進国といわれながら教育関係にけるお金は最低である。教育関係の取り扱いも最低である。そういうところに関してどのように考えているのか。</p> <p>建物を理想のように作ったとしても、教育の根本がしっかりしていないと駄目である。</p>
<p>学校教育部長</p>	<p>クラスを2分割して、登校、授業を行うのは、緊急的な対応の中で、先生と話ができて良かったという話もあった。</p> <p>一方で、クラスみんなで集まり、通常通りに授業ができることのありがたみもあったと思う。</p>
<p>参加者</p>	<p>通常の授業に関して、日本は外国と比較して1学級当たりの人数が多い。外国では1学級当たり十数人が当たり前である。そのようなことは、考えにないのか。</p> <p>日本は教員数もとても少ない。十数人に1人と30人から40人に1人の先生だとしたら随分と教育に差が出てしまうとを感じる。こういうことに関してどう受け止めているのか。どのように考えているのか。</p>
<p>学校教育部長</p>	<p>少人数学級の良さについては、この度、文部科学省が小学校の学級編成の人数を35人へ変えていくことを決定した。2025年までには小学校6年生までが段階的に35人学級にしていくなど、国の方でも少人数学級を進めている。上尾市も、国の制度に準じて進めていくところである。</p>
<p>参加者</p>	<p>国に準じることなく、市でも独自にできるはずではないか。過去に1年生、2年生の30人程度学級をしていたはずだ。</p> <p>国のことはどうでもよい、上尾市がどうしていくのかを知りたい。</p>
<p>学校教育部長</p>	<p>日本の教育費が海外に比べ非常に低いことについて、市としても認識をしているところである。保護者の協力や先生の努力により、学力を維持していることも認めている。</p>

教育総務課長	<p>少人数学級の話であるが、上尾市では平成 10 年代に小学校 1、2 年生及び中学校 1 年生の 30 人程度学級を市の単独事業として実施していた。</p> <p>しかし、現在は市の財源確保の裏付けもなく、教員の確保の問題もあり、病休代替え等の教員を確保するだけでも手一杯の状態である。</p> <p>30 人程度学級を実施するにあたり、教員の確保などの確証がないと難しい。</p> <p>学校給食について、給食費の無償化に関する要望があることは存じている。こちらに関しても財源の裏付けなどが必要とされており、検討すべき内容である。</p>
参加者	給食費の無償化に関してどの程度、話題になり、取り扱っているのか。
教育総務課長	給食費の無償化に関する要望があることは存じており、検討すべき内容であると認識している。
参加者	<p>議題に上がっているのかを知りたい。ただ、署名を集めて届けているだけになっていないかを心配している。</p> <p>なぜ、教員志望者が少なくなっているのか。何年か前に全国的になり、埼玉県でも希望する人が少なくて他県まで希望を取りに行ったことが新聞にも掲載された。それはなぜだと思いますか。</p> <p>教員の仕事や教育環境に関する様々なことが希望通りやれないからだと思う。</p> <p>昔は先生になりたいとか、先生が人気だったが、そのようなことがなくなったことを市全体で考えてほしい。国の行動を待っているは駄目である。</p> <p>予算の分配がいつまでも同じでは駄目である。いつまでも同じところに予算が多く割かれているのはいけない。</p> <p>上尾市独自で個々でできる取り組みをしてほしいと思う。</p>
教育総務部長	貴重な意見として受けたまわる。
参加者	原市地区の説明会の時に検討協議会で反対意見があった場合でも再編案のとおりになる可能性があるかと回答していたが、教育委

	<p>員会で作られた計画に対して、新しい学校づくり検討協議会が反対意見を出しても、反映されないのは良くない。</p> <p>学校づくり検討協議会の意見を最大限に尊重するような姿勢が必要である。教育委員会が骨子で定めた案を自分たちで決めてしまうのは非常に良くない。</p> <p>全員協議会でも、反対意見があっても再編案のとおりになる可能性があるとは回答していたが、検討協議会で出された意見はそのまま反映させていくという態度になってもらわないと非常に困ると思う。</p>
教育総務部長	貴重な意見として受けたまわる。
参加者	緑色の施設は延命可能と書いてある。延命措置のための補修費用について各学校ごとの試算はしているのか。そのようなデータがあるのか聞きたい。
教育総務課長	<p>更新計画の中では建物の更新費用のみ試算をする位置づけとなっており、長寿命化のコストに関しては試算の必要がないとしている。各学校ごとの長寿命化のコストについては算定していない。</p> <p>建物ごとに状況が異なっているため、改修なしに長寿命化として15年利用できる建物もあれば、場合によっては多少なりとも工事などの手を加えなければならない建物もある。</p> <p>今後は耐力度調査を行っていかなければならないと思っている。</p>
参加者	<p>長寿命化の試算をしていないことに驚いている。</p> <p>更新するか、長寿命化するかのどちらが効果的かという計算をしていないということか。</p> <p>そういう比較をしてないのか。</p>
教育総務課長	<p>長寿命化を図るための工事費用のコスト計算はしていないが、おおむね改築の6割程度で長寿命化できていることになっている。</p> <p>提示しているパターンによって、長寿命化のおおむねの金額を算定した上で、どちらが効果的かを考えている。</p>
参加者	長寿命化の方がコスト的には安く済むのではないか。

教育総務課長	<p>改築の6割程度で長寿命化できていることになっているが、延命できる年数は最大で15年である。改築をすれば60年使用することができるため、どちらが効果的かを検討している。</p>
参加者	<p>長寿命化も大事な選択肢の1つであると考えている。 他市でも長寿命化を選択している市がある。 予算平準化させつつ、その間の人口変動を考慮し、地域でどうするか考える時間ができるため、今決める必要はない。 長寿命化で時間をつくり、検討を進める方が、予算の平準化もでき、良いと考える。今決める理由がないように思える。</p>
教育総務課長	<p>全ての建物を仮に長寿命化した場合についても、15年先に同じような話が出てきてしまう。この時には長寿命化できない建物が出てきてしまう。 今回、再編案を示させていただき、できる限りコストを平準化し、住民の意見を聞く時間をつくりたいと考えている。そのため、建物を改修には10年ぐらいの期間が必要であると考えている。 貴重な意見として受けたまわる。</p>
参加者	<p>文部科学省が2015年ぐらいに学校規模の適正化をすることについて、教育条件を良くすることを目的で行うように各市町村に言われている。コスト削減ありきではなく、子供達の教育条件の充実と安心安全を大事にすることが重要である。</p>
参加者	<p>先ほどの教員が集まらないと話があったが、どうして教員が集まらないのかというと、教員はブラック企業化しているためである。そのことを、教育行政をやっている方はぜひ認識してほしい。教員は悲鳴を上げている。そのことは子供が悲鳴を上げていることにつながる。いじめの問題や受験競争で悲鳴を上げている。それを解決しようとするが先生方は子供達に目を配りきれない。事務処理に追われ、校内研究や子供達との時間が作れていない。学校の統廃合前に今の学校現場の現状を認識すべきである。 机上の計画ではなく、上から言われたからやるのではなく、主体的に学校をつくってほしい。</p>

参加者	説明会のことが周知されていない。本日はたった 17 名の参加であり、十分であると思っているのか。今まで行った上尾地区、平方地区、原市地区の説明会の参加人数は何人か。
教育総務課長	上尾地区では 28 人、平方地区では 85 人、原市地区では 70 人である。
参加者	定員以下なので広報などを活用し、もっと周知をしてほしい。知らない人が多すぎる。
参加者	今の発言に申し訳ないが、まず自分たちで情報を集めることが大切である。インターネットや広報、議会や定例教育委員会の傍聴などできることは自分でやるべきである。先生だけでなく、行政職員もブラック企業である。 意見があるのであれば、直接、教育委員会や、秘書政策課に言いに行く等、行動することが大事である。 過去の会議の傍聴者は少なく、関心がなさすぎた。 ワークショップも参加者は私一人であった。この場ぐらいしか意見を言う場がないこともわかるが、もう少し自分で行動しても良いのではないか。
参加者	私は広報を見たのだが、この説明会の情報はなかったように思えた。他から情報を得てこの説明会があることを知った。 市長室へ意見を述べに行くべき、議会を傍聴すべきということもわかりますが、時間があれば行きたいが、統廃合問題で実際の影響を受ける親世代は忙しく、情報を収集する心の余裕すらない。そこを配慮し、きちんと現役の保護者へ伝えていくことが、市の職員の役割だと思う。 一般の方が情報を取りに行くのはハードルが高いため、一般の方に情報が伝わるような広報をしてほしい。
参加者	今の保護者の多くはスマホを活用していると思うので、市役所のホームページなども見てほしい。時間がなくてできないと話しているが、子を持つ親として、現状を知るため、自分が住んでいる市の情報はチェックしてほしい。 先の発言者が言っていることも分かるが、この姿勢も大切である

教育総務課長	<p>と思う。</p> <p>話のあった現役の保護者への周知であるが、計画を策定しているので、保護者へは通知などをしてお知らせしないといけないと考えている。そのため、今後、市内小中学校 33 校に伺い、計画の周知を図っていく予定である。</p> <p>35 年という長い計画であるため、現役の保護者だけでなく、次の世代の未就学児世帯の保護者にも周知を図っていかなければならないと考えている。</p> <p>どのような形で周知をしていくかを検討しながら、広く周知を図りたいと考えている。</p> <p style="text-align: right;">以 上</p>
--------	--